

日本教育工学会 第27回全国大会

JSET 27



2011年9月17日（土）～19日（月）

首都大学東京 南大沢キャンパス

Contents

[TOP](#)

[大会日程](#)

[大会プログラム](#)

[全文検索の詳細](#)

[冊子版PDF](#)

[大会企画委員会](#)

[大会実行委員会](#)

[Adobe Readerのダウンロード](#)



日本教育工学会 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル TEL/FAX：03-5740-9505

All Rights Reserved, Copyright (C) 2011 JSET

看護師国家試験対策のためのシームレスな学習サイトの開発

Development of a Learning Support Tool for National Nursing Examination By Using PC and Mobile Devices

芝崎 順司*,杉山 秀則*,井上洋士*,三浦謙一², 葉田善章*

Junji SHIBASAKI, Hidenori SUGIYAMA, Yoji Inoue, Kenichi Miura, Yoshiaki Hada

*放送大学, ²駒澤大学

The Open University of Japan, Komazawa University

〈あらまし〉 放送大学で学ぶ約1万人の准看護師を対象に看護師国家試験対策サポート学習サイトの開発を行っている。これまでニーズ調査の結果をもとに、学習サイトに要求される機能、内容を明らかにし、学習サイトのプロトタイプを開発した。プロトタイプでは、第98・99の過去問および「在宅看護学」「精神看護学」「母性看護学」の3分野の110問については過去問の解説、発展学習シートを作成した。また学習方法を学べるミニレクチャーや弱点把握のためのレーダチャートを用意した。いずれもPC/モバイルいずれの環境でも学べるようにした。

〈キーワード〉 准看護師, 看護師国家試験対策, 発展学習, eラーニング, モバイル

1. はじめに

放送大学の科目履修をして通信制の看護師養成学校で学ぶ准看護師は約1万人にのぼる。本研究では、これら放送大学の「看護師国家試験」(以下国試)受験を目指す看護学生の学習をサポートする学習サイト (<https://nurse.ouj.ac.jp/pc/>または/m/)の開発を行っている。放送大学では「学問」としての医学・保健学・看護学を科目として開設しているため、国試受験には、多少教育内容として焦点がずれている。一方、国試受験への対応に対するニーズも高く、そのニーズに対応させる施策として本学習サイトを位置づけた。

本発表ではこれまで開発した学習サイトのプロトタイプの概要を報告する。

2. 学習サイトの要件

「資格取得における放送大学科目に対する要望とニーズに関する調査－看護師国家試験受験資格取得プログラムを中心として」(井上他 2009)の調査結果とそこから得られた知見をもとに、学習サイトに要求される機能、コンテンツを明らかにした。本プロトタイプでは優先度を検討し、表1中の①②④⑤⑦の機能やコンテンツの開発を行った。

表1 調査結果と要求機能

	調査結果と得た知見	機能要求
①	時間的余裕がない→短時間	過去問の解

	完結型の学習、国試対策による学習機会の創出	答と正解・解説
②	看護ケアはできるが、その根拠はわかっていない→根拠を学ぶ機会、国試対策と根拠を結びつける機会の創出	各過去問の関連事項の発展学習シート
③	主体的学習の方法がわからず、受身の姿勢→勉学のキュー、主体的・発展的学習を志向・育成する機会の創出	メルマガによる学習の促し
④	問題を繰り返し解答し、特に不得意分野を学ぶ必要→不得意問題を繰り返し解答する機会の創出	不得意問題の把握・選択的学習
⑤	国試情報(特に学習方法)が不足→国試関係の情報を得る機会の創出	国試対策の勉強方法の講義
⑥	放送大学教材と国試対策とのリンク不足→放送大学教材を踏まえた国試情報とのリンクの創出	放送大学教材と試験問題とのリンク
⑦	30歳-50歳代までの多様な年	PC/モバイ

	年齢層, 7割はPC・モバイル併用→ネットを通じて学ぶ機会の創出	ル双方への対応
⑧	全国各地で比較的孤立して学習している→学生同士の交流機会の創出	学生が学び経験を話し合うBBS

3. 学習サイトの概要

3.1 利用したシステム

オープンソースのLMSであるmoodle1.9に⑦への対応のため、モバイル対応機能を追加し、プラットフォームとして利用した。モバイル対応機能を追加にあたっては、駒澤大学のmoodleベースのLMS「Yestuday」の機能から簡単ログイン、小テスト、コンテンツ表示の機能を移植した。また上記の④に対応させるため、テスト結果を領域別にレーダチャートで表示・閲覧できる機能を開発した。さらに⑤に対応するため、3G携帯電話3キャリア、スマートフォン、PCなどの端末でもミニレクチャーが視聴できるようにした。

3.2 開発したコンテンツ

過去問を解くことによって、自己の学習を深めることができる。本プロトタイプでは、国試第98回・第99回の2回分の全問題について、小テスト機能により問題と正解を用意するとともに、10題をランダム出題できるようにした。また国試は全部で10分野構成となっているが、先行して「在宅看護学」「精神看護学」「母性看護学」の3分野の問題110問については、正解に加えて詳しい問題の「解説」、及び学習の根拠を学ぶ「発展学習シート」を作成した。上記3分野については5題のランダム出題と、分野中のさらに細かく分類された項目別に出題できるようにした。次に弱点発見レーダチャートにより不得意問題の把握が容易にできるようにした。また学習方法を学べるミニレクチャーを5本作成した。

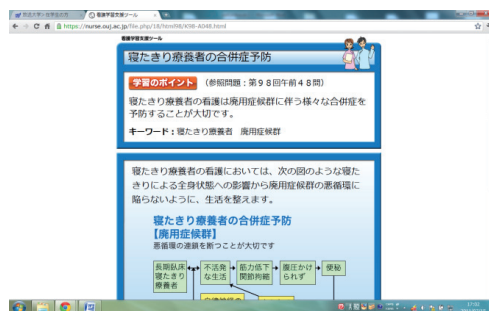


図1 発展学習シート

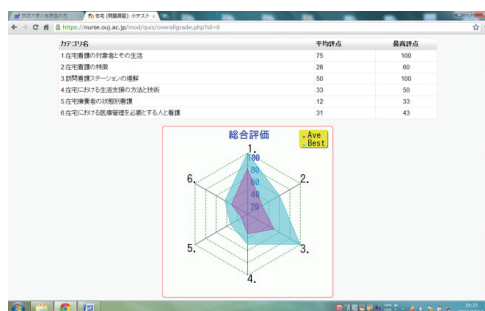


図2 弱点発見レーダチャート

4. 今後の課題

2011年4月より放送大学で学ぶ看護学生向けに本プロトタイプを公開し、運用を開始した。今後③⑥⑧などの機能の実装、残りの7分野のコンテンツの追加・年度更新、ミニレクチャーの追加開発を予定している。また利用した学生、看護養成学校による利用評価を行い、機能・内容の充実を図る。

謝辞

解説および発展学習シートの開発にあたって、22名の看護系大学教員の執筆協力を得た。特に千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科には学科として全面的にご協力いただいた。ここに記して感謝する。

参考文献

井上洋士他(2009)「資格取得における放送大学科目に対する要望とニーズに関する調査—看護師国家試験受験資格取得プログラムを中心として」放送大学特別研究報告書